

矢向駅前教室 はこんな教室です！

ぜひ一度、見学・体験授業にお越しください

城南コベッツFC内
2019年

最優秀教室受賞
2014年以降から
優秀教室 継続中

快適な学習スペースである**授業ブース**。

講師の両サイドに生徒が1名ずつ着席。
先生が隣にいるから、わからないことは、すぐに質問！



明るいデスクと快適な
教室内。
学習に適した環境を
整えています。



中川 教室長 / 林 教務主任

文・理の主任講師3名が
常駐しており、
全生徒をきめ細かく
フォローしています。

主任講師3名が**常駐**！

※別館3Fは、映像授業等もできるPCも完備。
静かに自習できる快適な環境です。



※自習ブース利用時は、講師巡回時や
休み時間中に質問や相談もできます。



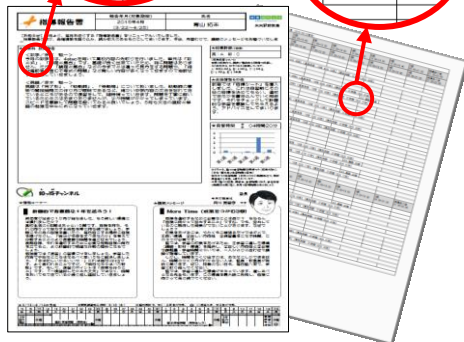
いつでも利用可能な**自習ブース**。 各席に間仕切りがあり、学習に集中できる環境。

自分の授業がない日でも、自習ブースは自由に
利用できます。学校の宿題をしてもOK。

指導報告

英語 >
「変動態」「現在完了」に
それぞれの単元の初回の授
課分では演習を行いました
習を通して、文の作り
の単元を学習す
る。

時間	01時間 29分 48秒
滞在時間	01時間 16分 41秒
小人数	人数
滞在時間	01時間 26分 27秒



指導報告書 / 滞在記録

授業中の様子は、毎月、保護者へお知らせ。 日々の**自習の管理**もしっかり行います。

毎月、保護者あてに、授業の様子を記した「指導報告書」を郵送。
学習に関するプチ情報や、講師メッセージなどもお届けします。
また、授業だけでなく、自習の管理もしっかり行っています。
授業&自習で来塾した際の滞在記録も一覧にして、保護者へ。



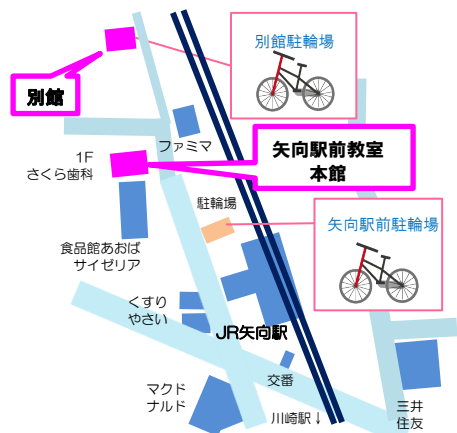
塾内に、小・中・高校生用の**新聞**もあり、 いつでも、自由に閲覧できます。

塾では、『読売KoDoMo新聞』
を用意。
自由に閲覧が可能です。
生徒の好奇心を伸ばすとともに
受験対策にも役立ちます。



自転車利用で楽々アクセス 🎵 駅前駐輪場利用なら、**料金は教室負担**。

立地は便利な矢向駅近。自転車で来校の場合は、
徒歩1分の別館駐輪場へ。満車で駅前駐輪場利用
の場合、料金は教室負担（一時利用80円）。
学校帰りの駅利用でも、自宅からの自転車利用
でも、楽々アクセス。



休み時間は 話題の**水素水**で ちょっと一息 🎵



※矢向駅前教室だけのサービスです。



<お問い合わせ先>

城南コベッツ 矢向駅前教室

横浜市鶴見区矢向6-6-19 エンデバーヨコハマ2F
TEL 045-710-0299(平日・土曜14時30分~21時)



充実の「80分お試しレッスン」。 まずは体験して教室の雰囲気を知ろう。



◎ご予約・お問い合わせは ☎045-710-0299へ！

「どうして成績があがらないのかな？」などとお悩みなら、
まずは矢向駅前教室の【学習診断付き体験授業】へ。
苦手だと思い込んでいる教科は、どうして嫌いになってしまったのか？
病院で「診断」せずに「治療」はできないのと同じ。
キライ・楽しいと感じるポイントは人それぞれ違います。
あなたの今の状態を正しく把握することから始めましょう。



無料！

☆学習診断 & 体験授業☆

講師1対生徒2の個別指導

日時は要予約

1回80分

国英数理社どれでも希望の教科



※事前に、希望日時と教科をお知らせください。
※苦手教科の復習、学校の宿題の質問…なんでもOK！
ご希望の授業を受けることができます。

矢向駅前教室 授業時間帯	
月～金曜：4限～7限 / 土曜：1限～7限	
1限	09:20～10:40
休憩 10分	
2限	10:50～12:10
昼休憩 80分	
3限	13:30～14:50
休憩 10分	
4限	15:00～16:20
シエスタ 70分	
4.5限	16:00～17:20
休憩 10分	
5限	17:30～18:50
休憩 10分	
6限	19:00～20:20
休憩 10分	
7限	20:30～21:50



勉強なんて、「やる気」がおこらない…
そんな時は…!?



誰だって、「やる気」がおきない時はあるもの。

「勉強しなさい！」っていつも言われるし、自分でも勉強しなくちゃって思うけど、どうしても「やる気」が出なくて、テレビ見てゴロゴロ…。誰でも、経験したことありますよね。そんな時、どうしていますか？
「やる気」が出るまで待つ？ いえいえ、ゴロゴロしている間は、いつまで待っても「やる気」はおきません。「やる気」は人間の脳にある「側坐核（そくざかく）」という部位に関係しているのですが、「頑張ろう！」と思っただけでは活動を始めないのだそうです。刺激を与えるには「まず、動き始める」ことが大切なのです。

イヤイヤでも、とりあえず動いてみる。すると…。

人は、イヤイヤながらも動き出すと、だんだん作業に引き込まれて、夢中になっていくものだそうです。この仕組みを発見した心理学者のクレペリンは、これを「作業興奮」と名付けました。
勉強も同じことです。「やる気」のおきない時でも、とりあえず机に向かって、単純な作業（簡単な計算問題や漢字の書き取りなど）を始めてみましょう。そうすると脳が刺激されて、だんだん勉強に集中できるようになってきます。「やる気」がおきない時は「まず、簡単なことから行動する」を心がけてみてください。

Let's try!

日本語クイズ



問 以下のことばの誤りを正しましょう。いくつできるかな？

- ①体育祭前日、各委員会の委員長が一同に会して細かい打ち合わせを行った。
- ②Aくんは、前回テストの成績は悪かったが、今回は頑張って汚名を挽回した。
- ③Bくんは、学級会で、いつも的を得た意見を言うので、クラスのヒーローだ。
- ④Cくんは、いつも注意を怠らないよう、肝に命じている。
- ⑤DさんとEさんは、好みや価値感が似ているせいか、とても仲良しだ。

答

- ①一同に会して → (正) 一堂に会する (いちどうに かいする)
「多くの人が、一つの場所に集まる」こと。「一堂」は「一つの建物(同じ場所)」。「一同」は「全員」の意味で「クラス一同」などと使います。
- ②汚名を挽回 → (正) 汚名を返上する (おめいを へんじょうする)
「汚名」は「悪い評判」、「挽回」は「取り戻すこと」なので、「汚名挽回」だと「悪い評判を取り戻す」の意味になってしまいます。正しくは「汚名返上」(悪い評判をお返しすること)あるいは「名誉挽回 (めいよばんかい)」(高い評価を取り戻すこと)。
- ③的を得た → (正) 的を射る (まとをいる)
「物事の肝心な点を確実にとらえる」という意味のことばは、「的を射る(まとをいる)」。「的」は弓で「射る」ものですね。「道理にかなっている」という意味の「当を得る(とうをえる)」と混同されて使われがちです。
- ④肝に命ずる → (正) 肝に銘ずる (きちにめいする)
「心に深くきざみつけるように記憶して忘れない」の意味。「銘」は、「(金属)にする」こと。転じて、心にきざんで忘れないことの意味があります。
- ⑤価値感 → (正) 価値観 (かちかん)
「物事のねうち・善し悪しを判断する基準」の意味。「観」は「見る」以外に「物事に対する見方や考え方」の意味もあります。

各学年別の学習の目標と目安

～成績アップ・受験対策への取り組み～

以下は、生徒さんの各学年に合わせた学習の目標と、一般的な指導の目安です。ご参考にしてください。
城南コベッツ矢向駅前教室では、以下の学習目標を目安として、それぞれの生徒さんに合わせた指導を行っていきます。

小学3～6年

●指導の目標

学習には順序があります。例えば割り算ができなければ、分数を理解することはできません。また分数が理解できていなければ、百分率(%)を理解することもできません。学習には(特に数学と英語において)順序があるものなのです。

まず、入塾時点までの苦手分野を克服した後、段階的に着実に実力をつけていき、小学6年生になったとき、卒業3カ月前から中学1年生の学習範囲の先取りに入ることができるような下地を作っておくことを目安として学習していきます。

随時、確認テストなどを行いながら、学習の定着を図っていきます。

●教科のポイント

<算数>

最も力を入れたい科目です。算数の計算力・図形を捉える力の土台は、この時期にほぼ完成されていきます。特に、小学4年生の算数は割合・図形の基礎が満載です。

中学1年時のはじめの学習単元は「正負の数」「文字と式」となります。小学校5・6年の四則演算(+-×÷)、特に分数・小数でのつまずきが残っている、中学での学習に支障をきたしますので、念入りに演習を積んでおきます。また「比と割合」は中学の方程式や関数に直結する重要単元であり、この定着も不可欠となります。

<国語>

文章を読む力は、ほかのすべての教科に通じます。文章に触れる機会をたくさん作ってあげたい時期です。また漢字の書き取りなどに多くの時間を割くことができるのも、小学生ならではの環境です。

<英語>

小学5年生より英語授業の導入が始まっていますが、文法事項は中学校で初めて習うことになります。英単語の意味や、スペルを正しく書けることも、大きな配点を占めることになるので、授業・宿題を駆使して下地を作っておくことを目指します。

中学1・2年生

●指導の目標

神奈川県公立高校の入試は「中学2年時の成績」+「3年時の成績×2」(合計135点)が基準点となります。この内申点を上げるために、常に定期テストの得点向上を目指します。通常は既習分野の復習(苦手克服)と得意科目は授業の先取りを行いながら、塾内で行う毎月の確認テストで定着を図ります。学校の定期テスト前には、無料の「テスト対策勉強会」でテスト範囲の問題集に取り組み、本番に備えます。

●教科のポイント

<英語>

重要文法項目は、1年では「代名詞と3人称単数」「一般動詞とBe動詞」「現在進行形・過去形」「疑問文と否定文」、2年では「不定詞」「動名詞」です。これらが曖昧であると、新学年の先取り学習を行うことができません。しっかりと定着させることを目指します。

<数学>

重要単元は、1年では「一次方程式」「比例と反比例」、2年では「連立方程式」「一次関数」です。学習の方法としては、「間違える→正解を見る→理解する→もう一度解く」の繰り返しを行うことで定着を図っていきます。早いうちから計算の見直しのクセをつけ、ケアレスミスで減点とならないよう、着実に計算力をつけることが大事です。

<理科>

1年「物質とその性質」、2年「化学変化と原子・分子」は3年まで関連する重要単元なので着実に理解しておきましょう。このほか、1年では「光の反射と像、屈折」の作図などを、2年では「水蒸気量」「飽和」のしくみを理解し、求め方をマスターしておきましょう。

<社会>

1・2年で学ぶ地理・歴史は、高校入試で出題されます。受験前にあわせて復習するには、範囲が広く大変です。地理・歴史とも、着実に学習を積み上げていくことが必要です。

中学3年生

●指導の目標

神奈川県公立高校の入試は「中学2年時の成績」+「3年時の成績×2」(合計135点)が基準点となり、3年の成績は12月の定期テストまでが内申点に反映されます。この間は「定期テスト対策勉強会」(無料)も活用しながら得点向上を図り、内申点アップを目指します。同時に早くから高校受験対策も進めていきます。塾内で随時行う確認テストのほか、(株)仲工房の行う「神奈川全県模試」を6月～翌年1月まで定期的に受験し、自分の力を客観的に確認しながら弱点を理めていきます。

●教科のポイント

<英語>

1・2年での学習が定着しているかを確認しながら進めていきます。2年で学んだ「受け身の文(過去分詞)」などの演習を含め「現在完了形」「関係代名詞」「不定詞」を重点的に学んでいきます。受験前には、文法の再確認、長文読解・英作文の演習を繰り返し行っていきます。

<数学>

これまでに行ってきた計算問題(多項式、因数分解を含む)の定着のため、演習を積んでいきます。見直しのクセをつけるなどの積み重ねにより、計算の精度・スピード向上を図り、着実に計算力を身につけます。3年での重要単元「関数($y=ax^2$)」の理解も欠かせません。受験対策としては、夏期講習を利用して1・2年の単元の復習を行い、抜けがないかを確認しておきます。

<理科>

入試では1～3年の範囲が幅広く出題される傾向のため、どの分野も欠かすことができません。化学分野は入試でも頻出していますので、1～3年まで通じて復習しておきます。授業では主に第1分野(化学・物理分野)を扱い、理論をしっかり理解していきます。3年での重要単元は「遺伝」「運動とエネルギー」など。

<社会>

入試では地理・歴史・公民とも同程度の配点で出題されます。定期テスト対策では公民を、講習会を利用して地理・歴史を復習していきます。公民では「憲法」「国会・内閣・三権分立」「価格の働きと金融」をしっかり覚えましょう。

高校1・2年生

●指導の目標

<一般入試主体の中堅～上位大学志望者>

受験対策として、英語・数学は高校3年1学期までに大学受験出題範囲の学習を完了させ、その後、総合問題演習に入る。そのために高校2年生1月より高校3年生学習範囲の先取りに入る。

<推薦・AO主体の中堅大学志望者>

高校3年生1学期(前期)までの評定平均値向上に努める。そのために通常授業では学校の補習および定期テスト対策に徹する。

高校3年生の4月になると、大学受験まで残された期間はわずか9カ月となります。9カ月間ではとても大学受験範囲の完成を為し得ることはできません。1・2年生のうちから早期に進路・志望校を考えながら、「何を重点的に学習すべきか」を押さえ、周囲に比べて少しでも早く学習に取り組んでいくことが大切です。

その際、志望はやはり高くあるべきです。「楽をしたいから、どこでもいいから推薦入学で」といった考え方は避け、自分の勉強したいと思える大学、学部学科を目指しましょう。

まずは、推薦主体の中堅大学を狙っていくのか、一般受験主体で中堅～上位大学を目指すのか、によって、定期テストに対する扱いが異なってきます。推薦主体であれば、主に定期テスト対策を行いながら講習会で受験対策を、一方、一般受験主体であれば、通常は受験勉強(＝先取り)を行い、定期テスト前のみ必要に応じてテスト対策を行う形で進めていきます。また、学習内容が質・量ともに中学と段違いとなっています。高2生から先取り学習に入る上でも、高1生の学習範囲の取りこぼしは致命傷とたかねません。新高2年生は高1年の学習内容の習得を徹底しておくことが必要です。どんな有名進学校の生徒でも、高3生からの受験勉強開始は遅いのです。先を見据え、計画的に学習していきましょう。

神奈川県公立高校入試を知っておこう!



城南コベッツ

成績保証のある個別指導

平成25年度入学者向けの試験より、試験制度が一部変更になっています。
 また、制度だけでなく、学科試験に「新傾向問題」が登場するなど、数年前とは異なる内容になっています。
 生徒さんの中には、「中学3年生になってから頑張ればいいでしょ」と、のんびりしている人がいるかもしれません。
 いえいえ、入学試験だけ頑張っても、合格は勝ち取れないのです。
 まずは、試験制度を知って、それに合わせた対策を講じていきましょう。

◎26年度以降の入試の概要 (詳細は「神奈川県ホームページ-神奈川県公立高等学校入学者選抜について」を参照してください)

- ★共通選抜として、学力検査+面接を行う。これに、調査書(内申)を加えて選考する。
- ★すべての高校で同一の試験を実施。ただし、一部の高校では追加して「特色検査」を行う(討論・記述/体育・芸術の実技など)

1. 共通選抜について (29年度選抜方法)

- 調査書(内申)、学力検査、面接それぞれの評価が基礎点となる。(右記ABC)

- 各高校で、内申・学力検査・面接の重点配分が違う。(右記fgh)

内申3/学力検査5/面接2
 内申4/学力検査4/面接2 の高校が多い

例) 新城高校 4/4/2 住吉高校 3/5/2
 城郷高校 4/4/2 市立東高校 3/5/2

- さらに、内申・学力検査で重視する教科に係数をかけて判定する高校もある。

例) 県立川崎高校 [調査書]英・国・数×1.5 市立東高校 [学力検査]英×1.5

<合計数値S1の計算方法>

調査書の評価 (A) = (2年9科) + (3年9科) × 2 (135点満点)

学力検査の結果 (B) = 5科 × 100 (500点満点)

面接の結果 (C) = 面接点

(A)(B)(C)をそれぞれ100点満点に換算し(これをa, b, cとする)、各高校が決めた数値(f, g, h)を掛けて合計数値(S)を求める

$S1 = (a \times f) + (b \times g) + (c \times h)$ f, g, hは「2」以上の整数とし、合計して10になるようにする。

従って、S1は1,000点満点になる。

また、特色検査(D)を実施した場合は、その結果を100点満点に換算し(d)、これに「5」以下の整数(i)を掛ける。

$S1 = (a \times f) + (b \times g) + (c \times h) + (d \times i)$

※詳細は、神奈川県ホームページを参照

- ★上記の計算に基づき、各評価の重みは、右記の表ようになる。

<内申4/学力検査4/面接2のバランス校の例>
 3年の内申1ポイントは1000点満点中の6点到該当。
 一方、学力検査での英語の1問は平均2.22点なので、
「3年の内申1ポイント ≒ 学力検査3問正解」と言える。

例えば、3年の「音楽」の成績「3」を「4」に上げれば、入試時の「英語3問正解」と同じくらいの得点ということ。

受験時だけ頑張ればよいのではなく、**ふだんから、しっかり成績(5教科以外の科目も含む)をあげておくことが重要。**
 2年の成績も評価の対象になるため、**高校受験は中学2年から始まっている、**と言える。

バランス	資料の比率	内申:2年 1ポイントが その比率	内申:3年 1ポイントが 2倍して	学力/1点 1ポイントが その比率	学力/1問 英語1問(200点) 算数1問(200点) 理科1問(200点) 社会1問(200点)	面接/評定1 5段階評価の1段階 200点満点/10問	特色検査 200点満点/10問
学力重視	2:6:2	1.5	3	1.2	3.33	6.6	20
学力重視	3:5:2	2.2	4.44	1	2.78	6.6	20
バランス	4:4:2	3	6	0.8	2.22	6.6	20
内申重視	5:3:2	3.7	7.4	0.6	1.66	6.6	20
内申重視	6:2:2	4.44	8.9	0.4	1.11	6.6	20

2. 学力検査の「新傾向問題」について

- 25年度以降の学力検査では、今までの一問一答や穴埋めのような「基礎的・基本的な知識及び技能」を問う設問だけでなく、それらを活用して課題解決を図る「思考力・判断力・表現力その他の能力」を問う、記述式の問題も出題されている。

25年度入試問題<英語>

英文を読み内容を理解したうえで、条件に従って、英文を記述する。

問5 次の(ア)、(イ)の問いに答えなさい。

(ア) 次の英文は、教室で佐藤先生(Mr. Sato)が、ある場面の英語表現について、クラスの生徒たちに話したものです。英文を読んで、()の中に入る英語を書きなさい。ただし、あとの<条件>①、②にしたがうこと。

Mr. Sato says:

It is important for you to help people. For example, you see an old man at a station. He has some large bags. He is going to go up the stairs with his large bags, but you don't think he can do it. Then, you say to him, "Excuse me. ()?" If he needs your help, he will say, "Yes, please. Thank you."

* stairs: 階段 help: 助け

<条件>

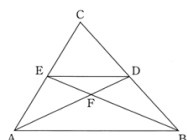
① Shallで書き始め、そのあとを3語以上6語以内で書くこと。

② 短縮形(I'mやdon'tなど)や符号(/, /? /!)などは使わないこと。

<数学>

完全証明。(穴埋めではなく、すべてを記述)

問7 右の図のような三角形ABCがあり、辺BCの中点をD、辺ACの中点をEとする。また、線分ADと線分BEとの交点をFとする。このとき、三角形ABFと三角形DEFが相似であることを証明しなさい。



★城南コベッツ 矢向駅前教室では…

中学1年生のうちから高校入試を見据え、内申の成績に直結する定期テスト対策を行っていきます。テスト前には、無料の「**テスト対策勉強会**」を開催し、テスト範囲の予想問題集を解いておくことで、自信をもって、テストに臨めるよう支援しています。より結果にこだわる**《+25点成績保証コース》**も受講可能です。このほか、学校のノートを講師が確認し、学校授業の進捗状況をつかみつつ、必要に応じて、ノートの取り方や授業中の挙手・発言についても、内申アップの観点よりアドバイスしていきます。中学3年生では、神奈川・東京の高校入試を見据えた模擬試験**「Wもぎ」**「**全県模試**」を受験することで自分の実力を確認しながら、志望高校を絞り込んでいきます。各高校の受験での重点配分や、各自の得意・苦手科目なども踏まえて、生徒さん個々に合わせた受験対策を行っていきます。